

「ラインの黄金」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前に作品に対する理解の一助として、
また、観劇後の感動をさらに深めるために、
5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介し
ます。
ぜひお気軽にお立ち寄りください。

過去の公演プログラム

「ニーベルングの指環」初演のプロダクション。

2000/2001 SEASON **ラインの黄金** (2001.3)

2001/2002 SEASON **ワルキューレ** (2002.3)

2002/2003 SEASON **ジークフリート** (2003.3)

2003/2004 SEASON **神々の黄昏** (2004.3)

参考図書

<対訳>

ワーグナー 舞台祝祭劇「ニーベルングの指環」序夜 ラインの黄金

日本ワーグナー協会=監修/三光長治・高辻知義・三宅幸夫・山崎太郎=編訳/白水社 1992年発行
対訳。詳細な訳注と音楽注付き。

ワーグナー ニーベルングの指環(上) 序夜 ラインの黄金・第1日 ヴァルキューレ

(オペラ対訳ライブラリー) 高辻知義=訳/音楽之友社 2002年発行

台本テキストを数行単位で原語と日本語訳交互に記載しているので、CDやDVDを鑑賞しながら原文と訳文を同時に追うことができる。

ニーベルングの指環 対訳台本-ライトモチーフ譜例付

天野晶吉=訳/川島通雅=ライトモチーフ分析/新書館 1990年発行

ライトモチーフ(特定の人物・事象・想念を象徴するメロディ)の譜例を付した画期的な対訳台本。

<作品関連>

ON BOOKS 21 はじめての《指環》ワーグナー<ニーベルングの指環>聴破への早道

山本一太=著/音楽之友社 2005年発行

ワーグナーの長大な四部作を最後まで聞き通すためのガイドブック。

ラインの黄金-ニーベルングの指環① 寺山修司=訳/アーサー・ラッカム=絵/新書館 2002年発行

北欧神話に基づいたワーグナーの<英雄物語>を荘重華麗なイラストと叙事詩でおくる画期的な挿絵本。

ニーベルングの指環 ラインの黄金 高橋康也・高橋宣也=訳/新書館 1999年発行

<指環>四部作を読み物仕立てにしたもの。

ニーベルングの指環-その演出と解釈

ディートリヒ・マック=編/宇野道義+檜山哲彦=共訳/音楽之友社 1987年発行

ワーグナーと《指環》四部作 ジャン=クロード・ベルトン=著/横山一雄=訳/白水社 1987年発行

《指環》の源流である神話伝説、成立過程、思想を民族学的考察をまじえつつ解説する。《指環》の音楽言語、構造をはじめ、この作品の特質を多角的に追究し、全貌を紹介したユニークな研究書。

完全なるワーグナー主義者 バーナード・ショー=著/高橋宣也=訳/新書館 2003年発行

音楽評論家として出発したバーナード・ショーがまず手がけたのは革命的なワーグナー論だった! ワーグナーの大作「ニーベルングの指環」を資本主義社会の寓話として描く。本邦初訳。

ワーグナー(作曲家別名曲解説ライブラリー) 音楽之友社=編/音楽之友社 1992年発行

L'Or du Rhin Wagner 出版:L' Avant-Scène OPÉRA 仏語 2005 年発行

古今のオペラを1作ずつ取り上げて解説するシリーズ刊行物。

<作曲家関連>

ワーグナー著作集 3 オペラとドラマ

三光長治＝監修／杉谷恭一・谷本慎介＝訳／第三文明社 1993 年発行

「指環」四部作を先導する「理論上の主著」初の完訳。日本ワーグナー協会創立 10 周年記念出版。

リヒャルト・ワーグナーの楽劇

C・ダールハウス＝著／好村富士彦・小田智敏＝訳／音楽之友社 1995 年発行

「オランダ人」から「パルジファル」に至る諸作品をワーグナーの自己解釈から解放、総合芸術作品としてとらえ直した画期的な研究書。

ワーグナー クルト・フォン・ヴェステルンハーゲン＝著／三光長治・高辻知義＝訳／白水社 1995 年発行

ワーグナー研究の第一人者による最も正統的な評伝。今日までの主要なワーグナー文献を渉猟した上で、同時代人の証言や、妻コジマの日記、ワーグナー自身の手紙や手記などからその芸術世界の内面に光を当てる。

ワーグナーの上演空間

バリー・ミリントン スチュアート・スペンサー＝編／三宅幸夫＝監訳／音楽之友社 1997 年発行

欧米におけるワーグナー作品の上演と受容という独自の観点に絞った、一流の研究者や現場スタッフ 10 人による論文集。

エルザの夢 新しいワーグナー像を求めて 三光長治＝著／法政大学出版局 1987 年発行

バイロイト祝祭劇場のオーケストラ・ボックス、コントラバスの林立する奈落まで赴いた自他ともに許す大のワグネリアンが、40 年に及ぶ遍歴の折々に綴ったワーグナー傾聴録。

リヒャルト・ワーグナーの芸術 渡辺 護＝著／音楽之友社 1965 年発行

ワーグナーの芸術を、音楽・文学・演劇その他、広範な観点から描き出した労作。

ヴァーグナー家の人々 30 年代バイロイトとナチズム 清水多吉＝著／中公文庫 1999 年発行

巨匠リヒャルト・ヴァーグナーの遺志を継いで、バイロイト音楽祭で壮大な楽音を響かせ続けてきたヴァーグナー家の人々は、ナチズムの圧倒的勝利という時代の流れのなかで離散するが、義娘ヴィニフレッドのみが総統ヒットラーと盟約し、バイロイト劇場はナチスの聖地となる。現代における政治と芸術の相剋を描く、ドイツ音楽の裏面史。

年刊ワーグナーフォーラム 2002～2007 日本ワーグナー協会＝編

作曲家リヒャルト・ワーグナーに関する最先端の研究成果や、多彩なワーグナー情報(国内外の上演や出版)を収録するほか、音楽文化の多面的な領域を横断するエッセイ集としても読みごたえのある芸術雑誌。

ワーグナー大事典

バリー・ミリントン＝原著監修／三宅幸夫・山崎太郎＝日本語版監修／平凡社 1999 年発行

ワーグナー、『ニーベルングの指環』の関連書籍はこの他にも多数ございます。詳しくはお問合せください。

公演記録映像

ラインの黄金 (2001.4.4)【字幕入り】ヴォータン:アラン・タイトス、アルベルヒ:オスカー・ヒツレブランド

ラインの黄金 (2001.4.3)【字幕なし】ヴォータン:ハリー・ピーターズ、アルベルヒ:島村武男

DVD

ラインの黄金 (90 メトロポリタン歌劇場)

ヴォータン:ジェイムズ・モリス、フリッカ:クリスタ・ルートヴィヒ、ローゲ:ジークフリート・イエルザレム

ラインの黄金 (02 シュトゥットガルト州立劇場)

ヴォータン:ヴォルフガング・プローブスト、ローゲ:ローベルト・キエンツリ、アルベルヒ:エサ・ルートウネン